介護部会 横浜西ブロック会議 報告書

実施日　　2019年　12月　11日（水）　14：00～16：00

会議実施会場　　介護老人保健施設　宮沢の里はなもも苑

参加人数　　8施設　　13名　　参加　　委任状　1施設

エスポワール和泉、リハセンターさわやか、希望の森
きららの里、横浜いずみ、宮沢の里はなもも苑
ナーシングピア横浜、ハートフル瀬谷　（順不同）

議事項目　　**“認知症フロアでの取り組み等”**

内容

・ユニット型3施設（認知症専門フロアなし）
・認知症の加算取得は3施設
＜取組み等＞
・加算を取得している施設では、利用者を10人単位でグループにわけ、それぞれのグループに日勤の職員が1名いるように配置している（看護師含む）
・訴えを聞いて個別に対応（したいことや、昔していた事など）
・グループでのレクの実施
・生活空間なので職員がだす音には配慮している
・ベッドにシグナルをつけて情報共有している（ベッドの高さ、ギャッジアップの角度等）
・食事が進まない方には、前に使用していた茶碗や箸を持参していただき、食事量の改善を図った
・居室入口に表札をつけたり、テーブルに名前を貼ったりして対応。
・ブレーキのかけ忘れのある方にはブレーキにラップ芯をつけて意識付けている。
・夕方に帰宅願望がある方は、夕方に生活リハビリを実施。
・センサーマットを使用。
・異食がある方の付近を除き、花を飾ったりし生活感をだしている。
・衣類の預かり、義歯の預かり等。
・化粧品等の持ち込みは自己管理できる方はOK。
・面会者がきた後は、持ち込み品がないか居室を確認している。
・認知症実践者研修やリーダー研修へ参加し理解を深めている。

＜質問など＞
・転倒が多い人にはどう対応しているのか？

⇒他部署も含めてカンファレンスを開催。家族にも参加してもらう
⇒マンツーマンで対応。介護職だけでは限界があるので他部署にも協力してもらう
⇒ベッドサイドに衝撃吸収マット等を敷いている場合は、記録にはあげるが
その上での出来事なら転倒という考えではないという考え方の施設もある
・フロアでの見守りは確保できているのか？
⇒トイレの訴えに対応する時など抜けてしまうことがある
⇒介護士が見守りを抜ける時は看護師で対応してもらっている
・特定介護職員処遇改善に関しての説明はあったか？
⇒全職員に配布、介護士だけに配布、毎月、年一回など様々
⇒明確な説明がない（まだ検討中）施設も多い

＜その他＞
次年度の横浜西ブロックのブロック長は、横浜いずみ老健さんとなります。

次回開催について
日時　2019年　4月　17日（金）　総会